

にしんESD講座通信

令和2年12月5日
農育体験「収穫祭」

4 質の高い教育を
みんなに



15 陸の豊かさも
守ろう



一年を通してお米を育て、田んぼの生態系に触れることをテーマとした農育体験の最終回である収穫祭が笠寺山地内のラッキーファームで開かれました。

この講座は、自然の楽しさや大切さを伝え、持続可能な社会の担い手を育む「人づくり」を目指すESD(持続可能な開発のための教育)活動の一環として行われています。

この日は、お米を収穫した後に残った稲わらを使って、しめ縄を作りました。



参加者は、寒いなか水を使って稲わらを湿らせ、束ね、束ねた稲わらどうしを結ってしめ縄を作っていました。それぞれオリジナリティあふれるしめ縄が完成して、正月を迎える準備ができました。

また、例年であれば収穫したお米を使って五平餅を作り、その場で食べて自然の恵みを味わいますが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり中止としました。その代わりに、自宅で五平餅を作ることができるように、収穫したお米と五平餅づくりセット(竹、くるみ味噌、レシピ)が参加者に配布されました。参加者は、その場で食べられないことは残念とのことでしたが、自宅で自然の恵みを味わうことを楽しみにしていました。